

いばえいけん通信



クスリ子ちゃん

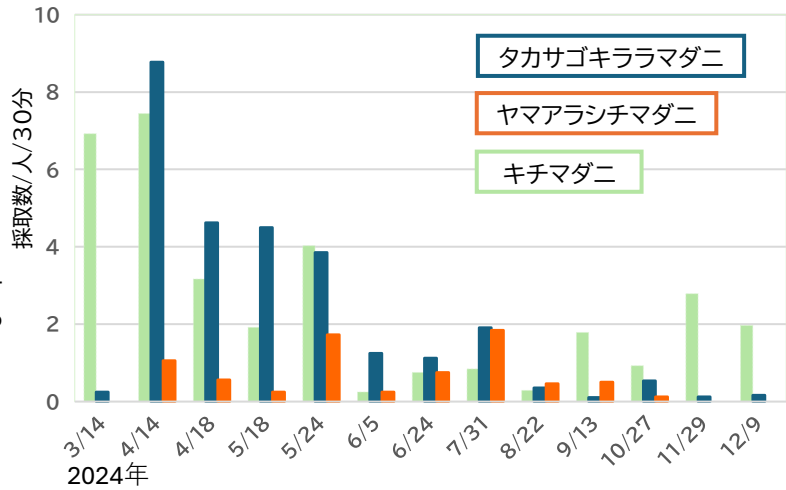
今回のテーマ：草むらのマダニに注意！マダニ媒介感染症に注意しましょう

マダニって？

マダニは、屋内にいるアレルギーの原因となるダニとは違います。山林や畑、公園、庭など身近な場所に生息していて、春から秋にかけて活動しています。



県内におけるマダニの採取数



マダニ媒介感染症って？

病原体を保有するマダニに刺されることによって起こる感染症です。代表的なものに、日本紅斑熱や重症熱性血小板減少症候群(SFTS)があります。主な症状は次のとおりです。

日本紅斑熱

- ・発熱
- ・発疹
- ・刺し口

SFTS

- ・発熱
- ・倦怠感
- ・頭痛
- ・消化器症状



県内のマダニの活動の活発化



予防方法は？ ～ハイキングや畑仕事など～

- 服装を工夫して肌の露出を控えましょう
 - ・長袖、長ズボンの着用
 - ・ズボンの裾は靴下の中へ入れる
 - ・首にタオルを巻く
- 帰宅したら確認しましょう
 - ・上着や作業着は家の外で脱ぐ
 - ・入浴時にマダニが付いていないかチェック
⇒わきの下・足の付け根・膝の裏・頭部など
- 虫よけ剤を使用しましょう

首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。

明るい色の服はマダニが確認しやすいです。

シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れてみましょう。

半ズボンやサンダル履きは不適当です！

ハイキングなどで山林に入る場合は、ズボンの裾に靴下を被せましょう。

シャツの裾はズボンの中に入れてみましょう。

農作業や草刈などではズボンの裾は長靴の中に入れてみましょう。

マダニに刺されてしまったらどうするの？

もしマダニに刺されてしまったら、無理にとろうとせずに、皮膚科等の医療機関で適切な処置を受けてください。数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診療を受けてください。

SFTSは動物にも感染する人獣共通感染症です。茨城県では、ペットの犬猫からもSFTS症例が報告されています。以下の点を参考にペットの体調にも注意してあげましょう。

- ・定期的にマダニ駆除剤を使用する
- ・ネコは室内飼養に努める
- ・散歩から帰ってきたら身体をこまめにチェックする
⇒特に毛の少ない部分をチェック！（耳、目や口周り、首輪周囲、お腹、足周り、肛門周囲など）

マダニ媒介感染症の詳細な情報は、茨城県感染症情報センターのホームページからご確認いただけます。

- ・ダニ媒介感染症に注意しましょう

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/tick-borne-disease.html>

- ・茨城県感染症情報センター

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/index.html>

